

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和4年6月21日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県犬山市大字前原字天道新田 大同メタル工業株式会社	
氏名 取締役兼常務執行役員 犬山事業所長 佐藤 善昭 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0568-61-1350	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大同メタル工業株式会社 犬山事業所
事業場の所在地	愛知県犬山市大字前原字天道新田
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	製造品出荷金額：40,916,618千円/年
③ 従業員数	1,273人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2, 3参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	
	排出量	1,336.3 t	t
	(これまでに実施した取組) 各工場ごとに前年度実績の年1%削減を目標に削減テーマアップを行い、削減活動を実施した。(不良ロス低減、歩留アップ)		
② 計画	【目標】前年度実績△1%減		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	
	排出量	1,323.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続を実施し、排出量の抑制をする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 硬質プラ、電気部品、小型家電類、使用済砥石
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	
	全処理委託量	1,336.3 t	t

		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,257.8 t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	243.3 t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	10.5 t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	156.2 t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】前年度実績△1%減		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	
	全 処 理 委 託 量	1,323.0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,245.3 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	240.9 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t

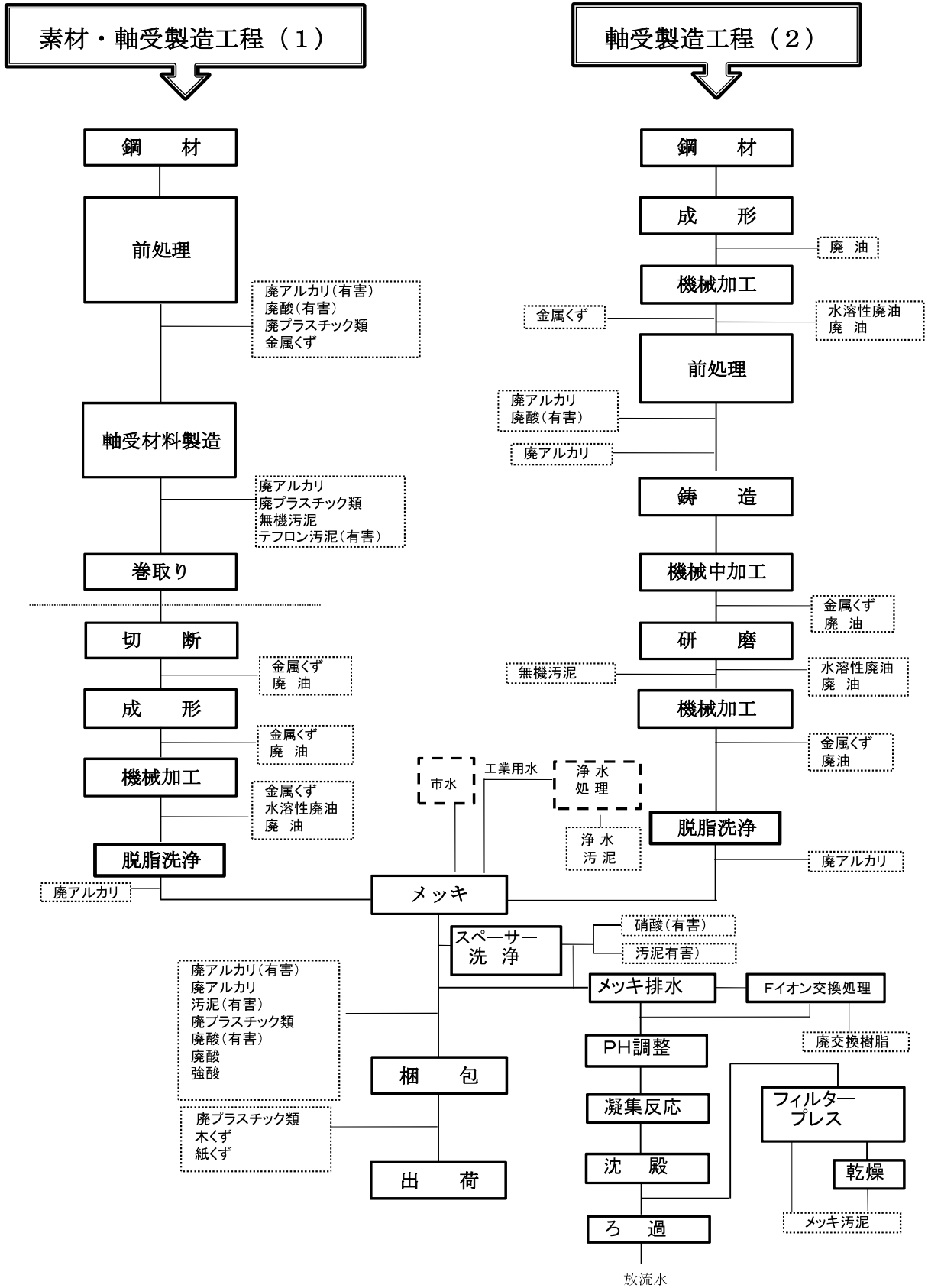
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状継続を実施し、排出量の抑制をする。</p>
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

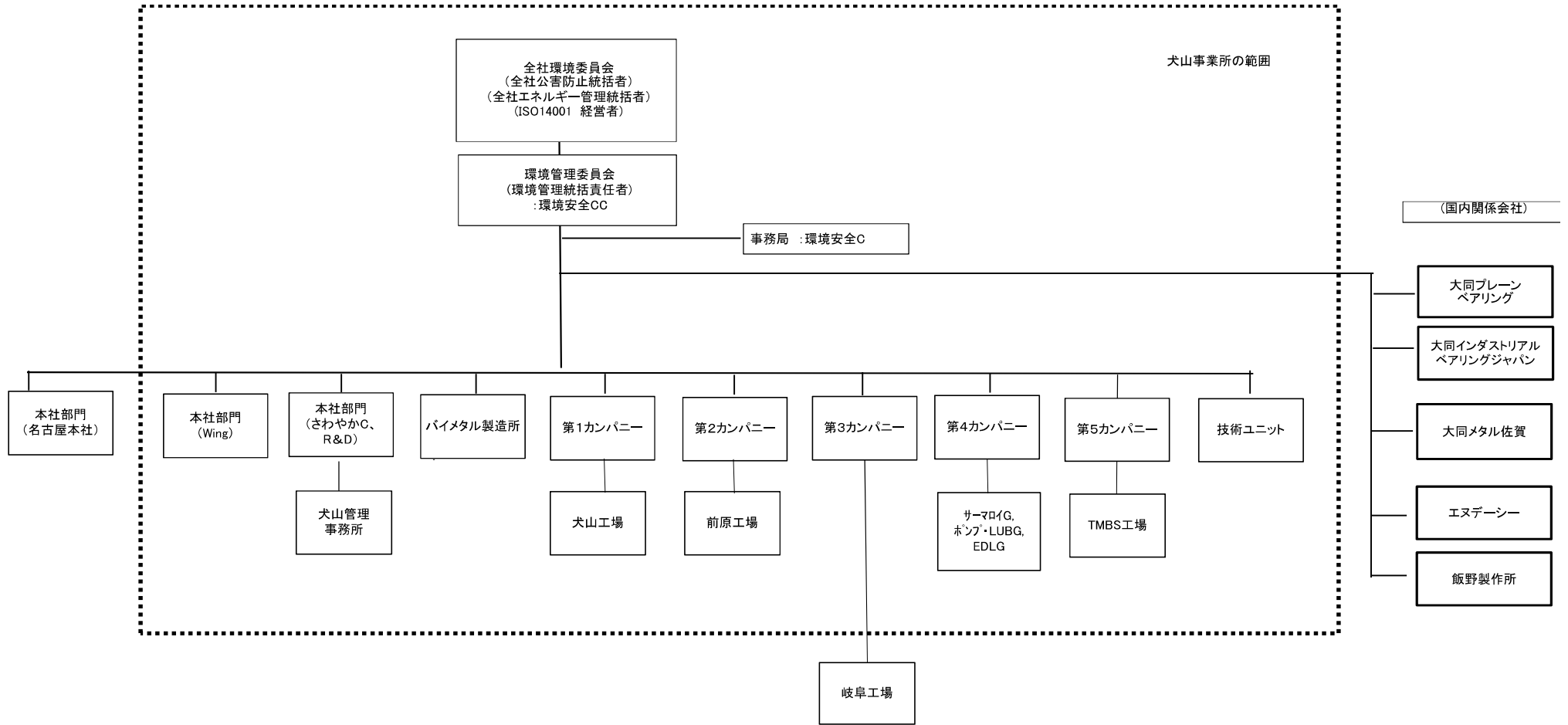
産業廃棄物（特管廃棄物）発生フローシート



産業廃棄物に関わる管理体制

1) 役割

	統括責任者	犬山事業所長： 取締役兼常務執行 役員
	廃棄物管理責任者	犬山管理事務所長： 組織名：
	廃棄物管理担当者	担当者： 人員：計 12名
役 割	犬山事業所 環境管理委員会	廃棄物の発生抑制、適正な部門管理の推進および廃棄物管理運営で、必要な事項の審議・決定
	統括責任者	廃棄物を含めた環境保全活動に関する基本方針を定める 犬山事業所の環境保全活動を統括し、責任を負う
	廃棄物管理責任者	廃棄物処理方法の策定 廃棄物管理規定の承認 廃棄物処理計画の承認
	廃棄物管理担当者	廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握と改善 廃棄物処理施設の運転・維持管理 処理業者の調査・選定および管理 委託契約の締結 マニフェストの管理 監督官庁への届出と各種報告



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項および処理の委託に関する事項

1) 現 状 単位：ton

種類:	排出量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量
排水処理汚泥(脱水有)	650.6	650.6	650.6	0.0	0.0	0.0
排水処理汚泥(脱水無)	93.0	93.0	93.0	0.0	0.0	0.0
コンガラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
浄水系汚泥	25.4	25.4	25.4	0.0	0.0	0.0
無機汚泥	91.7	91.7	91.7	0.0	0.0	0.0
排水分離槽	1.8	1.8	0.0	0.8	0.0	0.0
水溶性廃油	89.9	89.9	89.9	0.0	0.0	0.0
油泥	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1
廃酸	24.5	24.5	24.5	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	22.7	22.7	22.7	0.0	0.0	0.0
廃プラ	151.2	151.2	141.6	117.8	0.0	117.8
木屑	38.3	38.3	0.0	38.3	0.0	38.3
陶磁器	42.3	42.3	42.3	0.0	0.0	0.0
金属屑	104.8	104.8	76.0	86.5	10.4	0.0
合計	1336.3	1336.3	1257.8	243.3	10.5	156.2

2) 計 画 単位：ton

種類:	排出量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量
排水処理汚泥(脱水有)	644.1	644.1	644.1	0.0	0.0	0.0
排水処理汚泥(脱水無)	92.1	92.1	92.1	0.0	0.0	0.0
コンガラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
浄水系汚泥	25.1	25.1	25.1	0.0	0.0	0.0
無機汚泥	90.8	90.8	90.8	0.0	0.0	0.0
排水分離槽	1.7	1.7	0.0	0.8	0.0	0.0
水溶性廃油	89.0	89.0	89.0	0.0	0.0	0.0
油泥	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
廃酸	24.3	24.3	24.3	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	22.5	22.5	22.5	0.0	0.0	0.0
廃プラ	149.7	149.7	140.2	116.6	0.0	0.0
木屑	37.9	37.9	0.0	37.9	0.0	0.0
陶磁器	41.9	41.9	41.9	0.0	0.0	0.0
金属屑	103.7	103.7	75.2	85.6	0.0	0.0
合計	1323.0	1323.0	1245.3	240.9	0.0	0.0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

単位:ton	現 状		計 画	
種類:	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
排水処理汚泥(脱水有)	0.0	0.0	0.0	0.0
排水処理汚泥(脱水無)	0.0	0.0	0.0	0.0
コンガラ	0.0	0.0	0.0	0.0
浄水系汚泥	0.0	0.0	0.0	0.0
無機汚泥	0.0	0.0	0.0	0.0
排水分離槽	0.0	0.0	0.0	0.0
水溶性廃油	0.0	0.0	0.0	0.0
油泥	0.0	0.0	0.0	0.0
廃酸	0.0	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラ	0.0	0.0	0.0	0.0
木屑	0.0	0.0	0.0	0.0
陶磁器	0.0	0.0	0.0	0.0
金属屑	0.0	0.0	0.0	0.0

自ら行う産業廃棄物の埋立処分または海洋投入に関する事項

単位:ton	現 状	計 画
種類:	自ら埋立処分または海洋投入を行った産業廃棄物の量	自ら埋立処分または海洋投入を行った産業廃棄物の量
排水処理汚泥(脱水有)	0.0	0.0
排水処理汚泥(脱水無)	0.0	0.0
コンガラ	0.0	0.0
浄水系汚泥	0.0	0.0
無機汚泥	0.0	0.0
排水分離槽	0.0	0.0
水溶性廃油	0.0	0.0
油泥	0.0	0.0
廃酸	0.0	0.0
廃アルカリ	0.0	0.0
廃プラ	0.0	0.0
木屑	0.0	0.0
陶磁器	0.0	0.0
金属屑	0.0	0.0